

芸術文化の振興について

令和6年7月17日

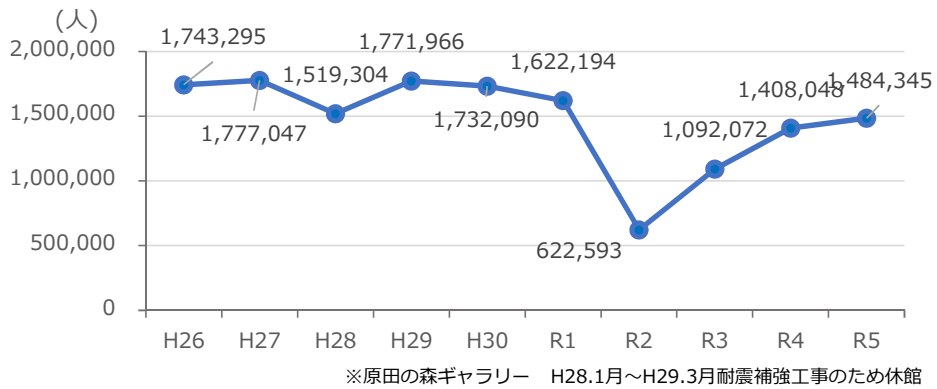
県民生活部芸術文化課

目次

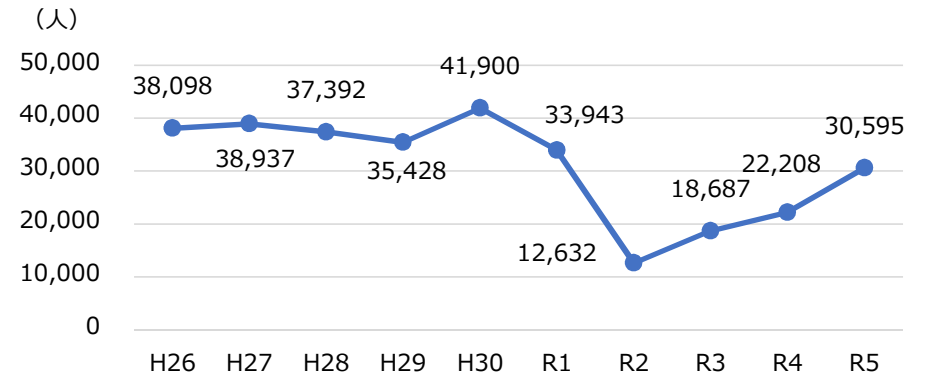
0	はじめに	3
1	芸術文化の創造と普及	6
2	芸術文化施設の運営	11
	〈参考〉芸術文化課 事業一覧	18

(1) 芸術文化行政をめぐる現状

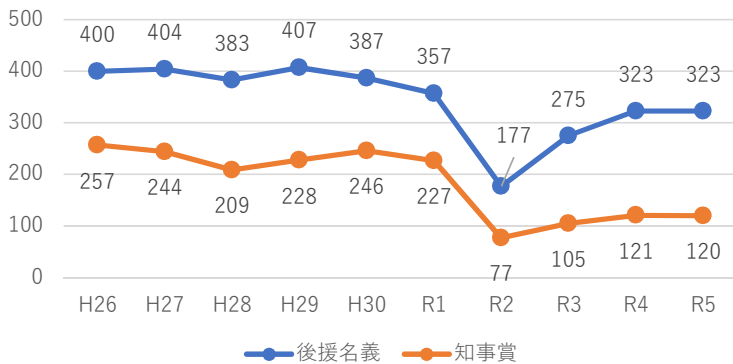
① 芸術文化課所管5施設の来館者数 (図表1)



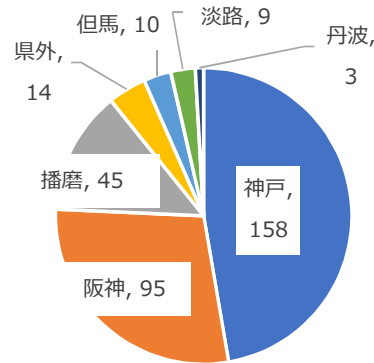
② ふれあい文化の祭典 参加者数 (図表2)



③ 県後援名義・知事賞 (図表3)



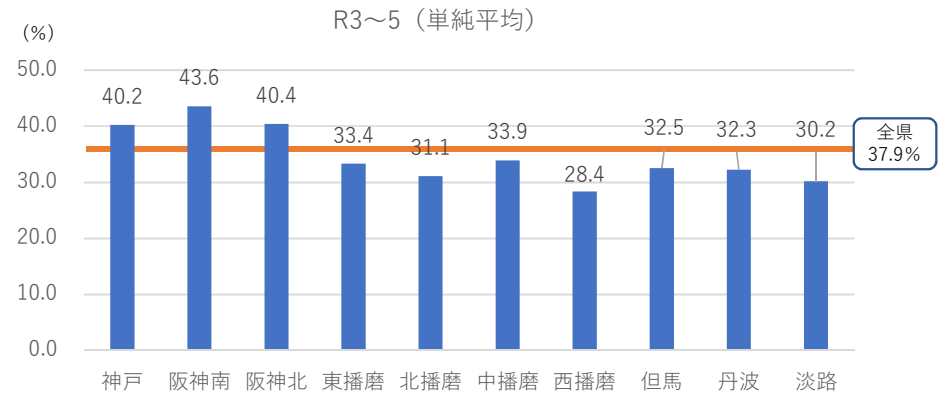
R5年度実施会場 (図表4)



④ 「芸術文化に接する機会があると思う人」の割合(地域別) (図表5)

(21世紀兵庫長期ビジョン「兵庫のゆたかさ指標」より)

(図表5)



(2) 新たな施策展開 - ①

① プレミアム芸術デーの実施 (9,910千円) 【R4～】

県民誰もが気軽に芸術文化に親しめるよう、夏休み前の1週間、県内の美術館・博物館等の無料開放や無料イベントを実施する。

ア 概要

実施期間 R 6.7.9(火)～7.15(月・祝)
 参加施設 103施設
 観覧者数 **60,202人** (令和5年度実績)



felissimo chocolate museum 桃井ミュージアム



神戸女学院大学パフォーマンス

写真1 今年度から参加する施設例 写真2 オープニング(7/9 於 県立美術館)

広報の工夫 (配布チラシ)

R5年度



サイズ
約4倍に

パンフレット型

10,000部

R6年度

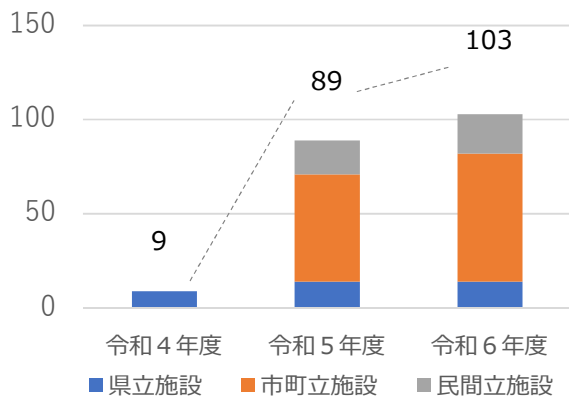


タブロイド型

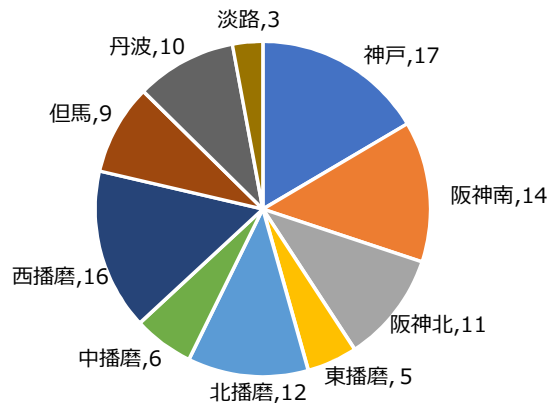
30,000部

イ 事業効果

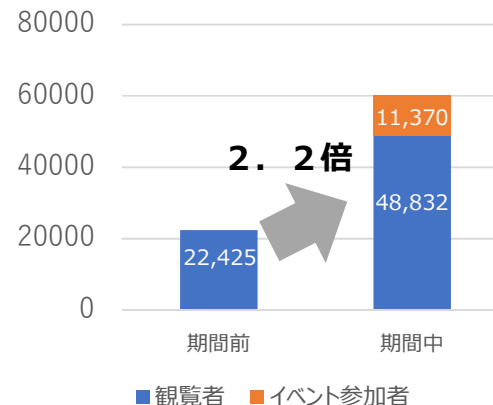
参加施設推移 (図表6)



R6参加施設数(県民局別) (図表7)



観覧者数増加率(前週比/R5実績) (図表8)



参加者等の声 (R5)

(参加者)

- 近くに住んでいたが、初めて来た
- 子供も楽しめた
- ぜひ継続してほしい

(施設)

- プレミアム芸術デーをきっかけに来館された方が多かった
- 施設の活動も周知できた
- プレミアム芸術デーを知らずに来館される方も多かった

はじめに

(2) 新たな施策展開②

ウ 県立施設における“誰もが芸術文化に親しむ”ための取組

取組名	施設数 (昨年度)
ハートフル・ファストトラック 子ども連れの方や障害をお持ちの方を優先的に案内	1施設 (1)
自由に話せる観覧日 毎月第2日曜日を「自由に話せる観覧日」に(追加設定)	6施設 (5)
一時保育	3施設 (2)
触れる展示	8施設 (5)
手話通訳付き解説会	5施設 (4)
字幕付き映像上映	4施設 (1)



写真3 ハートフル・ファストトラック (県立美術館)



写真4 一時保育の様子 (陶芸美術館)

一参加者の声(R5)一

- ・ろう者の友人と楽しめた(考古博)
- ・小さい子供とワイワイ見られた(県美)
- ・実際に陶片にさわれるのがよかった(陶芸)
- ・このような取組が広がって欲しい(県美)

国レベルでの取組みも要望中

音楽フェスへの支援 【R5~】

「フェス県ひょうご」を実現するために応援



写真5 ARIFUJI WEEKENDERS2024 (R6.5.18) 主催者提供



写真6 COMING KOBE24 (R6.5.19)

大阪・関西万博に向けた魅力発信 (3,161百万円) 【R5~】

国内外に兵庫の芸術の魅力を積極的に発信

・インスタグラム「アートポータル」



・ホームページの多言語化(3カ国)



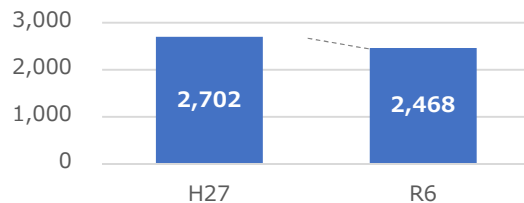
英語
中国語
韓国語

各施設HP

② アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト (8,377千円) 【R6~】

文化系Z世代の発表の場の創出や、合同練習会への支援により応援 (初年度は高校の文化部を支援予定)

高校文化部の部活数の推移 (図表9)

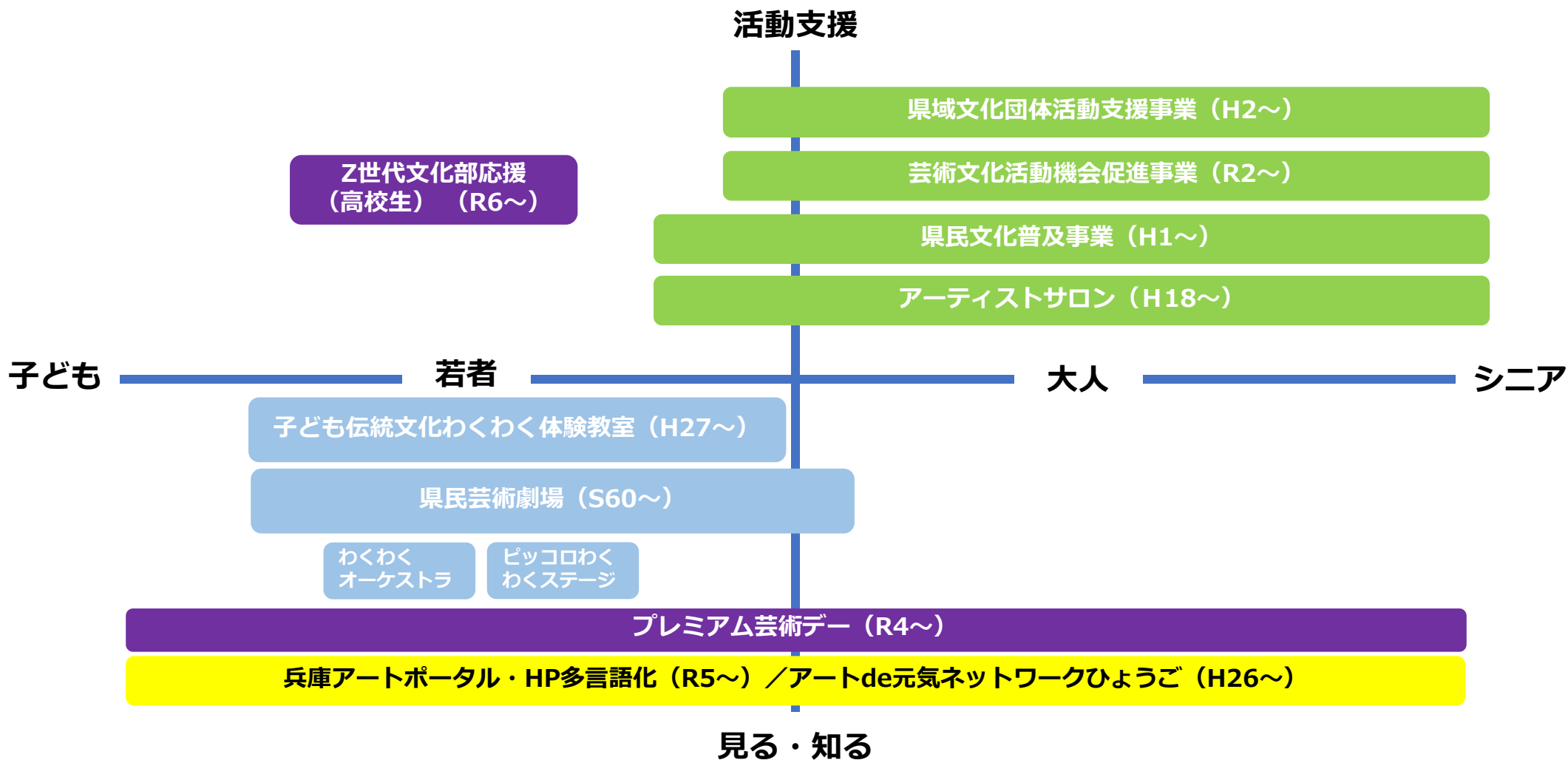


※「兵庫県高等学校文化連盟」加盟の部活データを基に、県芸術文化課において作成

R6高校文化部における芸術文化関係の部活数 (図表10)

多い順	部門	部活数	少ない順	部門	部活数
1	茶華道	240	1	詩吟	1
2	美術・工芸	189	1	和装	1
3	吹奏楽	171	1	ハンドベル	1
4	家庭・手芸	136	4	郷土芸能	13
5	書道	131	5	百人一首	17

1 芸術文化の創造と普及（全体像）



(1) 芸術文化の鑑賞・体験機会の提供



① 県民芸術劇場 (35,442千円) 【S60～】

② 子ども伝統文化わくわく体験教室 (8,400千円) 【H27～】

分野 音楽、オーケストラ、室内楽、器楽、バレエ、演劇、ミュージカル、オペラ、舞踊、能、狂言、人形浄瑠璃など

いけばな・茶道・書道・琴・日本舞踊・能狂言

対象者 小学生、高校生、一般

小学生、中学生、高校生

内容 出演団体の公演経費に対し、県1/2 市町等1/2負担
(上限：小学校225千円・高校460千円、一般1,000千円)

県域文化団体への補助
(2回開催120千円/校、3回開催160千円/校)

件数 R6：85件 (小学校48件・高校26件・一般11件)

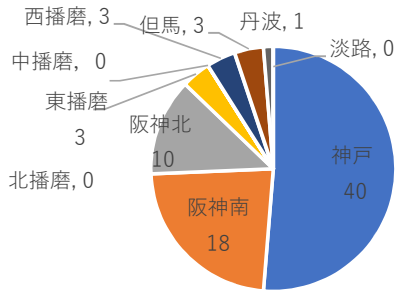
R6：64件 (小学校48件・中学校14件・高校2件)

参加者 R5：34,569人 (小学校16,831人・高校13,586人・一般4,152人)

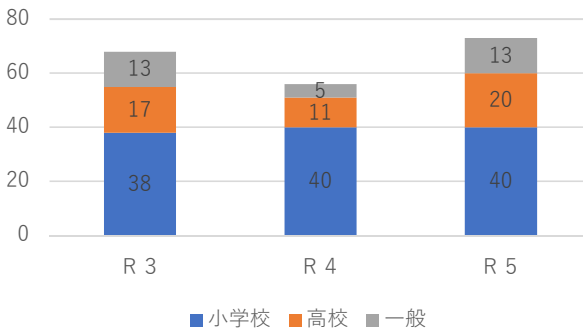
R5：3,002人 (小学校2,340人・中学校549人・高校113人)

実績

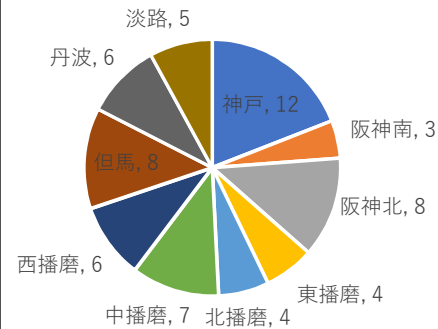
R5地域別件数 (図表11)



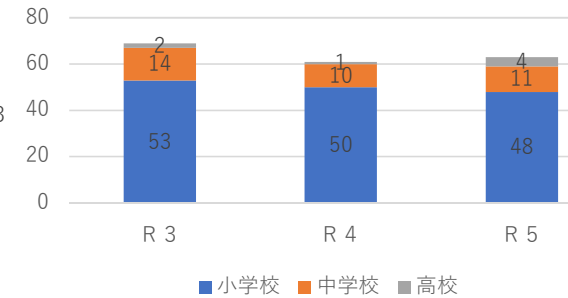
県民芸術劇場 公演数 (図表12)



R5地域別件数 (図表13)



わくわく体験教室 学校数 (図表14)



— 参加者の声 (小学生) (R5) —

- ・ (和太鼓) 迫力がすごくてめっちゃ心に響いた。
- ・ (演劇) みんなの声が体育館にひびいていてもすごかった。将来あんなふうになりたい。
- ・ (ミュージカル) タップダンスがすごかったです。また来てください。



写真7 人形劇

— 参加者の声 (小中高生) (R5) —

- ・ (いけばな) 今回の機会が無ければ体験することが無かったと思う。
- ・ (茶道) 礼儀や集中力がついた。
- ・ (琴) 昔の時代にタイムスリップしたイメージ。
- ・ (狂言) 生で観ると声や演技の迫力がすごかった。



写真8 茶道体験教室

(2) 県内の団体・芸術家への助成

	① 県域文化団体の活動支援事業 (12,000千円) 【H2~】	② 芸術文化活動機会促進事業 (8,040千円) 【R2~】
分野	① 芸術文化事業 (舞台公演、展示、出版) ② アウトリーチ事業 (体験教室) ※県内複数地域で実施	・ 音楽、演劇、舞踊等の舞台公演 ・ 美術や生活文化の作品展示、メディア芸術の発表 ・ 文芸 (美術) 作品出版事業
対象者	県域文化団体	県内に活動拠点をする個人・グループ
補助額	① 芸術文化事業 (1/2補助。300千円上限) ② アウトリーチ事業 (1/2補助。120千円上限)	対象経費に応じて、30千円、50千円、70千円、100千円、150千円、250千円 (定額)
件数	R5 : 30件 (①26件、②4件)	R5 : 78件 (団体61件・個人17件)
参加者	R5 : 31,717人	R5 : 27,658人
内訳	<p>※事業別延べ件数 R 5地域別件数 (図表15)</p> <p>※事業別延べ件数 R 5分野別件数 (図表16)</p>	<p>R5地域別件数 (図表17)</p> <p>R 5分野別件数 (図表18)</p>



写真9 いけばな協会主催



写真10 茶道協会主催



写真11 書道パフォーマンス



写真12 絵画展示会

(3) 県内各地への普及・ネットワーク化



① 県民文化普及事業 ～ふれあい文化の祭典～

(24,061千円) 【H1～】

県域文化団体の協力を得て、県内各地域で文化事業を実施

- ・実施手法：各事業別実行委員に委託（全23事業）
- ・参加人数：約3万人（R5実績）

	事業名	実施場所
8月	日本の文化体験フェスティバル	丹波
9月	ひょうご民俗芸能祭 in 高砂	東播磨
	ひょうご日本民謡フェスティバル	神戸
	第20回アンサンブル・フェスティバル 兵庫2024	阪神南
	ひょうご邦楽の祭典	阪神南
	第51回兵庫県交響楽祭	北播磨
	ひょうごブラスフェスティバル	阪神南
	和太鼓フェスティバル in 丹波篠山	丹波
10月	ひょうご名流舞踊の会	神戸
	詩のフェスタひょうご	神戸
	ひょうご大茶会	神戸
	ひょうご吟剣詩舞道祭	東播磨
11月	兵庫短歌祭	神戸
	ひょうご洋舞フェスティバル	阪神南
	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	神戸



兵庫県交響楽祭 (R5)



ひょうご吟剣詩舞道祭 (R5)

	事業名	実施場所
11月	兵庫県いけばな展 (川西市会場)	阪神北
	兵庫県いけばな展 (神戸会場)	神戸
	第36回全国手工芸美展 in ひょうご	神戸
12月	ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	西播磨
	第30回兵庫ふれあい美術展	神戸
	兵庫県川柳祭	神戸
1月	ひょうご演劇祭	阪神南
	東播磨文化フェスティバル	東播磨



ふれあい美術展 (R5)

② アートde元気ネットワークひょうご (2,160千円) 【H26～】

県内の代表的な8芸術祭をネットワーク化し、共通PR等を実施

参加人数：約11万人（R5実績）

地域	2024芸術祭	開催期間
神戸	神戸六甲ミーツ・アート2024 beyond	8/24(土)～11/24(日)
	下町芸術祭	2024開催なし (2025実施予定)
西播磨	たつのアート2024	10/14(月・祝)11/9(土)～11/24(日)
但馬	Toyooka Art Season 2024	5/28(火)～3/31(月)
	木彫フォークアートおおや	9/13(金)～9/29(日)
	あさご芸術の森アートフェスティバル	10/19(土)・20(日)、11/17(日)
丹波	丹波篠山・まちなみアートフェスティバル2024	9/14(土)～9/23(月・振休)
淡路	IKUHART PROJECT 2024	8～11月

(4) 人材の育成と顕彰

① 新進・若手アーティスト等の支援 (8,953千円) 【H18～】

ア ひょうごアーティストサロンの運営

専門の芸術文化コーディネータによるアドバイス等

- ・ R5相談件数 370件
- ・ 相談内容
 - ・ 公募展やコンクール参加などステップアップ支援
 - ・ 広報活動や助成金申請などの助言 等

イ ロビーコンサート

県民会館のロビーなどを活用したロビーコンサート

- ・ R5実施回数 こうこはくロビーコンサート 他19公演開催

ウ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ

県民会館のホールを活用したプロジェクト・リサイタル

- ・ R5実施回数 江戸聖一郎フルートリサイタル 他6公演開催



写真13 ロビーコンサート



写真14 リサイタルシリーズ

① 兵庫県文化賞 (2,880千円) 【S23～】

県民文化の高揚に顕著な貢献をされた個人または団体を表彰
〈令和5年度〉個人表彰：6件

② ともしびの賞 (1,639千円) 【S50～】

地域において郷土文化の向上に貢献し、その活動と功績が
顕著な個人又は団体を表彰
〈令和5年度〉個人表彰：16件、団体表彰：5件

③ 芸術奨励賞 (1,065千円) 【H5～】

芸術分野における創作活動で優れた業績をあげ、かつ、将来
一層の活躍が期待される新進・中堅の芸術家等を表彰
〈令和5年度〉個人表彰：3件



写真15 R5年度 兵庫県文化賞・芸術奨励賞等表彰式 (R5.11.10)

2 芸術文化施設の運営（全体像）



	陶芸美術館	芸術文化センター	ピッコロシアター	県立美術館王子分館		県民会館
				原田の森ギャラリー	横尾忠則現代美術館	
所在	丹波篠山市今田町	西宮市高松町	尼崎市南塚口町	神戸市灘区原田通		神戸市中央区下山手通
開館	H17.10～	H17.10～	S53.8～	H14.10～	H24.11～	S43～
運営	(直営)	指定管理(芸術文化協会)	指定管理(芸術文化協会)	指定管理(芸術文化協会)		指定管理(芸術文化協会)
予算 (R6当初)	223百万円	1,584百万円	348百万円	156百万円		158百万円
内訳	<p>(図表19)</p>	<p>(図表20)</p>	<p>(図表21)</p>	<p>(図表22)</p>	<p>(図表23)</p>	
入館者 (R5実績)	82,517人	663,274人	98,616人	189,208人		423,385人
推移	<p>入館者数推移 (図表24)</p>	<p>ホール利用率/入館者推移 (図表25)</p>	<p>ホール利用率/入館者推移 (図表26)</p>	<p>ギャラリー利用率/入場者推移 (図表27)</p>	<p>ホール利用率/ギャラリー利用率/入館者数推移 (図表28)</p>	

(1) 兵庫陶芸美術館

① 展覧会の開催

- ・古陶磁器や内外の現代陶芸作品の鑑賞機会を提供
- ・兵庫県のやきものの伝統と文化を次世代に継承

ア 今年度の展覧会

兵庫のやきもの探訪—五国の窯場を巡る—
丹波焼、三田焼、打出焼、神戸絵付など
県内各地で作られた多彩なやきものを紹介



兵庫のやきもの探訪
(R6.6.8~8.25)



次回 九谷赤絵の極地
(R6.9.7~11.24)

② 学校との連携

展覧会見学や創作活動等を実施。立杭 陶の郷ともタイアップ



写真16 展示品の見学



写真17 作陶体験の様子

【R5年度実績】
展覧会見学
小学校 35校
参加人数 2,742人

イ これまでの特別展鑑賞ベスト5

(図表27)

	展覧会名	期間	人数
1	マイセン陶器の300年	H23.9~11	28,710人
2	ウェッジウッド —ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史—	H20.10~H21.1	27,159人
3	北大路魯山人展	H22.3~5	22,221人
4	バーナード・リーチ展	H18.3~5	22,015人
5	ザ・フィンランドデザイン	R3.9~11	21,815人



マイセン磁器の300年



ウェッジウッド
—ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史—



北大路魯山人展

③ 地域との連携

R6.4より組合理事長を副館長に迎え連携を加速



写真18 最古の登窯

	春ものがたり	陶器まつり	ワコインコンサート	陶芸と生け花展
日程	5/3~5/5	10/11~20	5~11月 (8回)	未定
対象	ファミリー	ファミリー	音楽愛好家等	生け花愛好家等
参加	2,353人 (R6実績)	1,519人 (R5実績)	355人 (R5実績)	493人 (R5実績)

	ひょうごフィールドパビリオン プレミアムプログラム 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる	文化観光振興法に基づく観光拠点計画 「陶の郷」を中核とした丹波焼の里
認定日	R5.3.28	R5.9.1 (R5~R9の5年間)
申請者	丹波立杭陶磁器協同組合	丹波篠山市ほか
内容	50軒の窯元によるワークショップ等	陶の郷のリニューアル、陶泊、イタリアケル等 12

(2) 県立兵庫芸術文化センター

① 佐渡裕芸術監督によるプロデュースオペラ

幅広いパフォーマンズの獲得・定着をめざし、8回のロングラン公演を毎年実施

ア これまでの公演

計**18**作品 **177**公演 累計入場者 **315,627**人

H17	ヘンゼルとグレーテル	H18	蝶々夫人	H19	魔笛
H20	メリー・ウィドウ	H21	カルメン	H22	キャンディード
H23	こうもり	H24	トスカ	H25	セビリヤの理髪師
H26	コジ・ファン・トゥッテ	H27	椿姫	H28	夏の夜の夢
H29	フィガロの結婚	H30	魔弾の射手	R1	オン・ザ・タウン
R3	メリー・ウィドウ	R4	ラ・ボエーム	R5	ドン・ジョバンニ

イ R6年度の公演

演目：歌劇「蝶々夫人」

日程：R6.7.12～7.21

夏のプロデュースオペラの原点。しかし18年たった今だからこそ上演できる改訂新版「蝶々夫人」の幕があがります！



写真19 蝶々夫人（練習風景）

芸文センター公演入場者数： 累計 **850**万人 (R6.3)



KOBELCO 大ホール (2,001席)



阪急 中ホール (800席)



神戸女学院 小ホール (417席)

写真20 各ホール

② 兵庫県芸術文化センター管弦楽団(PACオーケストラ)事業

国内外からオーディションで結集した若手演奏家によるオーケストラ

【楽団構成】

芸術監督：佐渡裕

レジデント・コンダクター：岩村カ

コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣

コアメンバー：14パート48人（平均年齢26.9歳）



ア 定期演奏会

- ・古典名曲から現代音楽まで幅広いプログラム
- ・1シーズン**9**回
- ・会員数**4,311**人
- ・楽団事業平均公演入場率**90%**超



イ わくわくオーケストラ教室

- ・県内の**中学1年生（全員）**
- （年間40公演 R5:383校 **46,738**人）
- ・小学校はアウトリーチ
- （R5年度実績:20校27回 **1,435**人）



県と神戸女学院大学の連携

地域社会の音楽文化に貢献する人材育成等を目的に協定締結 (R6.3.30)



協定書の締結

開館20周年に向けて

震災復興のシンボルとして開館してから20周年 (R7.10)。1年前の今秋には、「特別企画」を発表。



10周年特別企画 13

(3) 県立尼崎青少年創造劇場 (ピッコロシアター)

① 県立ピッコロ劇団【H6～】

- ・多彩な舞台公演の提供（本公演、ファミリー劇場、わくわくステージなど年間約50ステージ）
- ・ワークショップ等による演劇指導（年間約50件）

〔 劇団代表：岩松了 俳優：32人（男18人、女14人）（平均年齢41歳） 〕

ア 主な公演（R5～6年度）



イ 小学生・中学生に対する演劇鑑賞・体験の提供

(図表30)

区分	対象	R5実績
わくわくステージ【H22～】	中学生	35校・4,460人
おでかけステージ【H17～】	小学生等	4箇所・485人
あつまれ！ピッコロ広場	小学生等	3校・337人

③ 劇場の利用【S53～】

- ・演劇、落語などの優れた舞台芸術を紹介する場
- ・青少年が、音楽、舞踊などの練習や発表を行う場



ア ピッコロ鑑賞劇場

0～3歳児と保護者を対象にしたシアタースタート、文学座公演、ピッコロ寄席など優れた舞台芸術を提供（R5実績：10事業・14公演・2,817人入場）

イ ピッコロフェスティバル

地域で創造活動に取り組む若者等の演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供（R5実績：R5.7.29～9.3 39団体・653人出演・3,720人入場）

② 人材育成【S58～】

「ピッコロ演劇学校」、「ピッコロ舞台技術学校」を運営し、地域文化の担い手を育成（卒業生累計**2,926人**）

【令和5年度修了者数】

(図表31)

区分		人数	内容	主な進路
演劇学校	本科	20人	演劇創造	地域での演劇活動、劇団スタッフ、学校の演劇部顧問
	研究科	17人		
舞台技術学校		20人	音響・照明・美術	舞台関係や文化施設スタッフ

社会包摂への取組

- ワークショップ にほんごであそぼう！
（北播磨地域での在留外国人の地域コミュニティ支援）
- 多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポート
（バリアフリー字幕付き公演、音声ガイド付き公演など）
- 取組への評価
 - ・R4年度「日本アートマネジメント学会賞」受賞
 - ・R6年度「草の根国際功労賞」受賞



阪神淡路大震災30年・ピッコロ劇団30年

- 演劇と災害に関するシンポジウム（仮称）（R7.1）
- 県立ピッコロ劇団 第81回公演「神戸 わが街」（R7.2）
※大震災10年の際にも上演当たり前の大切さを届ける
- ピッコロお出かけステージ「学校ウサギをつかまえる」（R6.10～11）
※被災地激励公演として上演（H7：12か所）



被災地激励活動・長田区

(4) 県立美術館王子分館

① 原田の森ギャラリー

ア 利用率推移（貸館利用）

(図表32)

		H31	R4	R5
本館	1階 (600㎡)	88.9%	85.9%	91.8%
	2階 (1300㎡)	85.9%	91.5%	92.5%
東館	1階 (230㎡)	94.8%	90.8%	95.1%
	2階 (240㎡)	88.2%	89.2%	86.6%



本館2Fギャラリー



東館1Fギャラリー



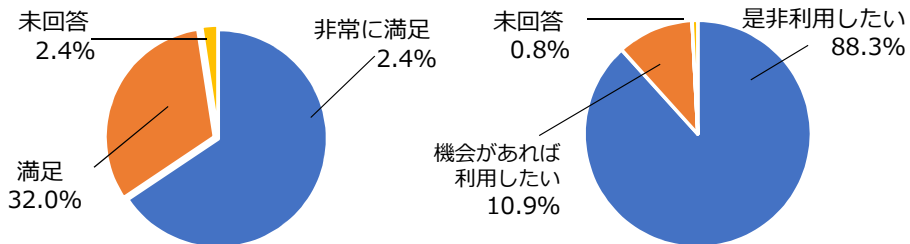
障害者アートギャラリー

イ 利用者数推移

(図表33)

	H31	R4	R5
利用者数 (人)	148,935	131,533	131,909

ウ 利用者アンケート調査 (H5年度)



施設利用についての全般的な満足感 (図表34)

今後の利用希望について (図表35)

② 横尾忠則現代美術館

ア 企画展の開催（直近3展）

(図表36)

展覧会名	期間	観覧者数
横尾忠則 原郷の森	R5.5.27 ~8.27	10,346人
YoKoo in Wonderland -横尾忠則の不思議の国-	R5.9.16 ~12.24	10,069人
「Y-イ（ワーイ）!★Y字路」展	R6.1.27 ~5.6	11,297人
計		31,712人



「Y-イ!★Y字路」展より
《暗夜光路 N市-I》2000年

イ 現在開催中の企画展（R6年度）

(図表37)

展覧会名	期間	観覧者数
横尾忠則 寒山百得展	R6.5.25 ~8.25	4,092人 (7/8時点)



寒山百得展より
《2022-12-12》2022年

横尾氏からの作品寄贈

温泉シリーズなど905点の作品寄贈の申し出があり、美術館で受贈

〈作品内訳〉

絵画535点、版画50点、
ポスター205点、素描86点
コラージュ23点 等

〈評価額〉

約3.3億円



写真21 感謝状披露 (R6.5.24)



《城崎幻想》2006年

兵庫県出身の美術家・横尾作品の魅力を県内外に発信

(5) 各施設のハード整備

① 芸術文化センター (H28～)

開館10周年時に、音響・照明器具・舞台更新など早期修繕・機能向上のため大規模な改修を実施（工事規模約22億円）



写真22 車いす用階段昇降機の設置

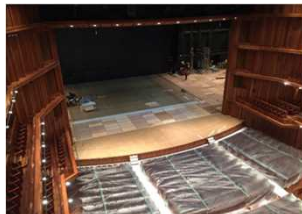


写真23 客席をビニールシートで保護しての修繕作業



写真24 LED照明器具の導入

② 王子分館 (H27～)

H28年度、耐震補強を行なうとともに、老朽化した電気、空調、内装等を更新（工事規模約15億円）（H28.1～H29.3全面閉鎖）



写真25 本館1階ロビー(改修前)



写真26 本館1階ロビー(改修後)

③ ピッコロシアター (H30～)

H30年度補正予算で、舞台美術工房や大ホールエレベーターほか、劇場内老朽化対策を実施（工事規模約3.5億円）

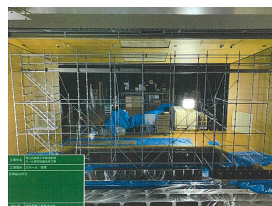


写真27 照明・客席改修

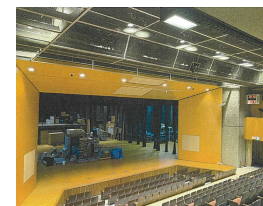


写真28 改修後

H29年度補正予算で全館のトイレを改修



写真29 改修前



写真30 改修後

④ 陶芸美術館 (R6～)

開館19年を迎え、施設の老朽化対策等を3カ年にわたって実施予定
R6年度は、緊急性の高い展望デッキを先行して改修中

施設名	R 6	R 7	R 8
展望デッキ	設計 → 改修		
インテュ棟 展示棟 管理棟 研修棟 茶室棟		設計 →	改修 →
		全館のLED照明化、外壁補修 空調設備、消防設備等の改修	

(6) 兵庫県民会館

① 県民会館の運営

ホールの貸館利用、音楽発表会や各種美術展など芸術文化活動の発表の場など、広く利用されている

ギャラリー等利用率推移

(図表38)

		H31	R4	R5
県民ホール(326席)		70.8%	71.0%	69.1%
ギャラリー	大(346㎡)	55.5%	48.5%	55.6%
	中(176㎡)	48.5%	47.6%	47.5%
	小(50㎡)	35.8%	33.5%	33.7%
	特別(78㎡)	45.1%	41.1%	43.5%

② 県民会館の耐震診断

現在、詳細な耐震診断(時刻歴応答解析)を実施中

R6.9に結果が判明する見込みで、耐震性がなく倒壊の可能性がある場合は、10月から貸館利用を停止するなどの措置を講じる予定

診断結果		R6年度		R7年度		R8年度
耐震性無	倒壊に至る可能性がある (××)	通常利用 R6.4~9	貸館利用停止 R6.10~	全体(貸館・入居) 利用停止		全体 (貸館・入居) 利用停止
	倒壊しにくい (×)	通常利用		通常利用 R7.4~12	貸館 利用停止 R8.1~	
耐震性有	倒壊しない (○)					

※入居14団体中9団体が移転済み又は移転先を決定(R6.7.9時点)

③ ギャラリー等利用者への対応

近隣のギャラリー・ホールを案内するなどの対応を実施



【主なギャラリー】

(図表39)

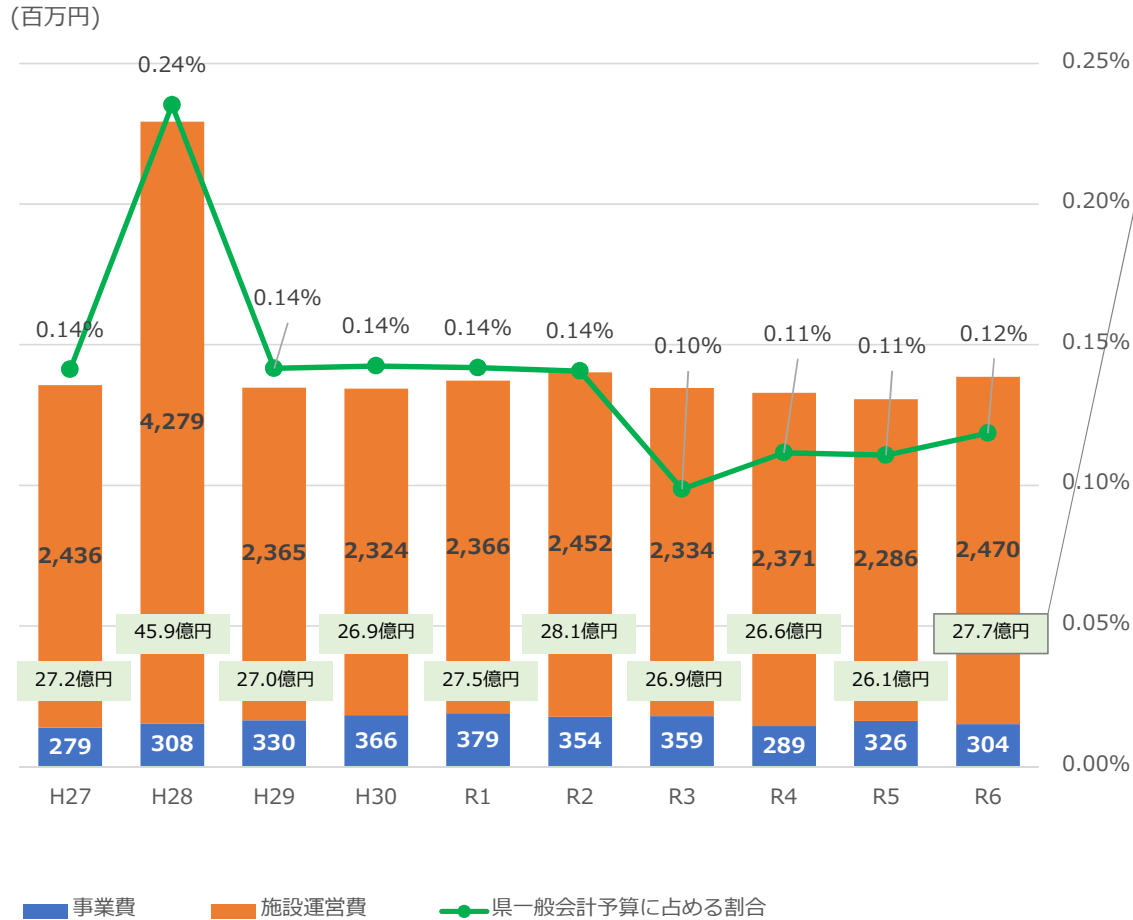
記号等	施設名	面積
①	神戸芸術センター	216㎡
②	KIITO	576㎡
③	BBプラザ美術館	245㎡
④	こうべまちづくり会館	178㎡
灘区	原田の森ギャラリー(4室)	240~1,300㎡
長田区	神戸生活創造センター(新長田合同庁舎)	99㎡

【主な音楽ホール】

(図表40)

記号等	施設名	席数
①	神戸芸術センター(3室)	126~132席/劇場1,100席
②	ハーバーホール	397席
③	ミュージアムホール	250席
④	神戸ポートオアシス	400席
⑤	神戸文化ホール(仮称)	中ホール 700席 (令和10年開館予定)
垂水区	あじさいホール	294席

芸術文化課の予算推移と事業一覧



芸術文化課 当初予算 (図表41)

事業名		R6当初 (千円)
事業費	芸術文化表彰等経費 (S23~)	6,249
	芸術文化活動機会促進事業 (R2~)	8,040
	アートde元気ネットワークひょうご(H26~)	2,160
	子ども伝統文化わくわく体験教室(H27~)	8,400
	芸術文化協会補助事業等 (S43~)	163,764
	舞台芸術鑑賞機会創出事業 (R3~)	20,000
	ひょうごプレミアム芸術デー (R4~)	9,910
	県域文化団体活動支援事業 (H2~)	12,000
	ふれあい文化の祭典 (H1~)	24,061
	新進芸術家支援事業 (R2~)	8,953
	県民芸術劇場事業 (S60~)	28,471
	万博に向けた芸術文化魅力発信強化事業 (R5~)	3,161
	新 アートで躍動Z世代応援プロジェクト (R6~)	8,377
小計		303,546
施設運営費 (兵庫陶芸美術館・県立芸術文化センター・ 県立尼崎青少年創造劇場・ 県立美術館王子分館・兵庫県民会館)		2,470,270
合計		2,773,816

※基金積立金除く